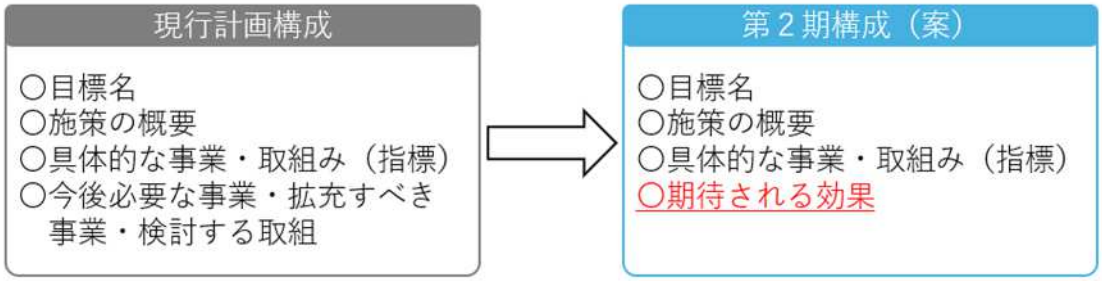
効果検証の手法について

1.効果検証の手法整備（第５章の構成変更）

現行計画では、個々の取組みに対する「指標」で達成度を測る手法となっているが、目標に対する効果検証の手法が明らかになっていないため、第２期計画では、第５章の各目標に対して新たに「期待される効果」を設定し、効果検証の手法を整備した。

具体的には、上位計画である総合振興計画の指標等により効果検証するほか、紐づけられる指標等がないものについては、第3期計画の策定時（令和１１年度予定）に越谷市中小企業実態調査を実施し、効果を測るものとする。



2.効果検証の手法について

検証方法の種類

総振指標 第５次総合振興計画後期計画指標
実態調査 越谷市中小企業実態調査（第３期計画策定時・令和１１年度予定）
統計調査 国勢調査・経済センサス等

目標別：期待される効果と検証方法

目標1：働きたいまちの実現	
期待される効果	検証方法
①人手不足の緩和	実態調査
②職住近接の推進	統計調査 （国勢調査：昼間人口）
③離職率の低減	実態調査
④就職決定率の上昇	総振指標 （５－４若年者・女性・高齢者の就職決定率）

資料４

目標2：「稼ぐ力」の向上	
期待される効果	検証方法
①経営基盤の強化	実態調査
②販路多様化による収益の安定化	総括指標（５－１「業況が良い」企業割合）
③市内総生産の増加	総括指標（５－１市内総生産の伸び率）

目標3：事業の持続可能性の向上	
期待される効果	検証方法
①災害リスクの低減	実態調査
②環境対応経営の促進	総括指標（４－１環境・SDGsに関する取組み件数）
③円滑な事業承継の促進	実態調査

目標4：創業者が挑戦しやすく、事業継続しやすい環境の実現	
期待される効果	検証方法
①創業者の増加	総括指標（５－１市の支援を受けて創業した件数）
②新規事業者の生存率向上	統計調査（経済センサス：平均事業継続年数）
③ネットワーク形成による新たな取組の創出	実態調査

目標5：地域内経済循環の促進	
期待される効果	検証方法
①地域経済の自立的発展	総括指標（５－１住宅・店舗の改修を行った総工事金額） 統計調査（地域経済循環率）
②にぎわい創出による市内事業者の売上機会増加	総括指標（５－２水辺を活用した取組み数） 総括指標（５－２「まちなか」のブランディングにつながる新たな取組み数） 総括指標（５－２プロスポーツ等の観客数）
③地産地消の推進	総括指標（５－３地場農産物の認知度）